



## 岩本校長先生の来春ご退任について

保護者各位

平素は日本人学校の運営にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

さて突然ですが首記の件、このたび岩本先生より、7月に膝の手術を受けたが身体の回復状況がおもわしくないため、任期を2018年3月帰国に短縮したいとの希望が出されました。

御本人とも面談を行い、事情をお伺いのうえ検討の結果、大変残念ではありますが、任期短縮はやむを得ないとの判断にいたしました。そして今般、文部科学省から正式に短縮帰国が許可されましたので、委員長として各位にお知らせいたします。

日本人学校の先生方の任期は全世界的に原則3年です。神谷教頭先生はこれに沿って来年の帰任が確定しておられます。通例であれば、校長先生と教頭先生の任期は1年のズレがあるため、片方の退任時にはもう片方が2年以上在籍されており、交代時の業務引継をサポートするということになります。

今般は、校長先生と教頭先生が同時に帰国される異例の状況となりますので、運営委員会として両先生方の引継ぎに関し支援を図り、学校運営への影響を回避するべく取り組んでまいります。

なにとぞ皆様方のご理解を賜りたく お願い申し上げます。

モスクワ日本人学校 運営委員長 常原 豪

保護者各位

いつも大変お世話になっております。

上記、常原運営委員長からのご報告の通り、手術を受けた膝の状態が思わしくなく、寒さを迎えたこの時期、痛みがまた出てきております。

ケガの完治していない状況では、心身ともに今後の勤務に支障が出る恐れがあることを鑑み、常原委員長に相談のうえ、文部科学省に任期短縮を申し出、今般、任期短縮が認められました。

教頭も帰任いたしますのに、同時に私まで帰任というのは本当にご迷惑をおかけすることになりますが、新年度がスムーズにスタートできるように綿密に引継を行う所存であります。

本当にご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解を賜りたくお願い申し上げます。

モスクワ日本人学校 校長 岩本 謙一郎